

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	和歌山県情報化推進協議会		代表者名	佐藤 周	
担当者部署	教育ICT研究部会		連絡先電話番号	073-428-2688	
担当者役職	部会長	担当者氏名	伊藤 宏	連絡先E-mail	*****
住所	640-8215 和歌山県和歌山市橋丁23番地 N4ビル1階				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	和歌山県	連絡先部署	デジタル社会推進課		
担当者氏名	山中崇央	連絡先電話番号	073-441-2407	連絡先E-mail	*****

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	下山 紗代子
評価	よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	2月10日に実施した高校教員などを対象とセミナーにおいて、他府県での事例や高校教育におけるデータ活用の重要性に関する講演と「明日から活かせるデータ活用」と題した実際の機器を使用した実践セミナーを担当していただいた。特に実践セミナーではRESASを実際に操作しながら、問題点の把握、解決法の検討などを分かりやすく解説して貰った。教員がすぐにも授業に応用できるような内容であった。今回は開催者側の都合でOnlineによるLive中継は行わなかったが、録画を行っているので、後日、希望者への公開を考えたい。
アドバイザーへの要望事項	今回は限られた時間であったために、参加者が和歌山固有の事情を反映させて、データ活用によって地域課題を見つけるまでにはいたらなかった。今後、同様の依頼をした場合には他の地域の事例に加えて、和歌山の課題、特に防災や小中学校を含めた教育全般でのICT利活用教育にも重点を置いた問題提起をしていただければありがたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年9月20日	事前打合せ(実地)	有	令和6年2月8日	1206
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年2月10日	講演（実地）	13時00分	16時30分	10:00
				活動時間（分）	8850
3-2. 派遣場所	会場名	和歌山信愛女子短期大学		最寄駅	岡崎前
	所在地	和歌山県和歌山市相坂702-2		最寄駅からの交通手段	徒歩

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/
------	--------------------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	一般及び実施団体関係者	20人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	今回の事業では、地域課題を解決するために高校での「総合的探究の時間」という教科の担当教員に情報を提供することが目的である。教員が授業の対象である高校生に地域課題解決の関心を持たせ、実際に解決の為に活動させ、その成果を共有できるようにするかが課題である。高校生への動機づけのために地域を知ること、しかも客観的なデータを通して地域を理解すること、活動成果をOnlineで共有することは必須であり、そのための手法を研修するため教員向け講演会やセミナーを実施する。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	教員と生徒がすぐにも取り組める地域課題を考える方法、その実施のための準備、地域解決活動の円滑な実施、最終的な成果発表という一連の活動を映像及び文書として記録・共有することにより、高校の教科学習の一環としてどこでも取り組めるようにすること。また、成果発表会などを実地及びOnlineを通じて行い、地方自治体、地域の人たちや大学等の教育・研究機関と連携して、今後の地域解決活動につなげること。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	地域課題を発見するために地域にあるデータをどのように利活用するか、関係者等での事前の打ち合わせに参加して貰いながら、検討して貰った。また、高校教員向けのセミナーの講師として、他地域での先行事例の紹介、成果などを講演してもらい、さらにコンピュータを操作しながらRESASの使用法などの研修も担当して貰った。	

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	RESASの利用法などは従前より教員の取り組むべき知識として普及しているが、RESASに含まれる項目、内容などが年々増加、充実しており、それらを反映した利用法にはなっていない傾向があった。今回の実践的なセミナーを通じて、RESASやその他のデータを利活用する授業に対する改善への示唆が得られた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 講演やコンピュータの操作法に関する資料や録画があるので、後日公開方法を検討して、他の教員にも周知する。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	高校の教員が具体的に「総合的探究の時間」という授業を実施する上で参照する授業計画、授業指導書に記載されるような文書の作成には未だ至っていない。アイデアを授業実施に反映させるためのより具体的な手法やテンプレートの作成が今後の課題である。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 全員を対象としたアンケートを実施していないが、参加者からは大変参考になったので、今後の授業に活かしていきたいとの感想がメールで寄せられている。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	教員向けにOnlineにも対応した定期的なセミナーを実施し、授業の質を上げること。また、授業実施に悩む教員の問題解決のために情報交換の場を設けること。最終的には、教員による実際の授業実施内容、および授業を受けた生徒による成果発表の報告会の開催を目指す。	

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

